

関東龍門会報

〔〈旧制〉加治木中・加治木高女・加治木高校同窓会〕

発行人

会長 海江田 怜

発行先 関東龍門会 事務局

HP www.ryumonkai.com/

幹事長 前原 澄雄

東京都品川区西五反田 5-16-2

〈メールアドレス〉

life-is-shadow@trad.ocn.ne.jp

《来年の「母校創立120年」にむけて》



季節は晩春から初夏へと移ろうとしております。同窓会の皆様にはいかがお過ごしでしょうか。

さて、来年度は我が母校が、明治30年（1897年）に鹿児島尋常中学校第二分校として創立されて以来、その歴史を積み重ね、120周年を迎えます。この記念すべき年に当たり、同窓会本部では記念事業の重要構想として「育英事業」を掲げ、その中で国内派遣事業推進を計画しております。思えば平成25年私が会長に就任したときに同窓会の目的の一つとして「福祉の増進を図る」とし、なかなか実績がないので、これに強い気持ちで挑戦していきたいと申し上げました。そして、昨年からの一環として学生や若手との懇親会をやつて参りましたが、同窓会本部の構想はまさにこの趣旨に合うものであり、是非協力していきたいと思っております。そこで去る2月に母校で行われた同窓会入会式には関東龍門会からの代表として西迫宏文君（昭和55年卒）、今村邦之君（平成17年卒）の2名に参加してもらい、末永同窓会長、森永校長先生、宮田教頭先生、担当の安藤先生と具体化について打ち合せをさせていただきました。今後事業の具体化を推進して参りたいと思っております。一方、当事業推進に当って同窓会本部から皆様に寄付を中心とした協力依頼の文書が届いたかと思っております。当事業の成功のために

会長あいさつ



関東龍門会会長
海江田 怜

（昭和40年卒・高17期）

は皆様の絶大な協力が不可欠です。どうも趣旨をご理解され協力をしてくださるようお願い申し上げます。（具体的内容については当誌3ページをご参照ください。）

話は変わります。昨年は世界的に見て喜ばしいことが二つありました。数えればまだまだ沢山あるのですが、特に今後の世界を考えると私の注目したことは、ひとつは、対イスラム国で断固対処するというコンセンサスができたこと、もうひとつは地球温暖化防止の取り組み方針が合意に至ったことです。いずれも自分たちの周辺に影響がはつきりして来ないとコンセンサスは生まれにくいものですが、ようやく各国の首脳陣がその気になってきたということでしょうか。今後の実効ある取り組みに期待したいものです。

一方今年の話題といえば、アメリカ合衆国の大統領選挙とリオデジャネイロオリンピックでしょうか。去る3月のスーパーチューズデーで、民主党のクリントン氏と共和党のトランプ氏の一騎打ちの様相が濃くなりました。11月の本選まではまだまだ予断を許しません。もし、クリントン氏が勝利すれば女性初となりますし、トランプ氏が勝利すれば、全く異色の大統領となります。いずれにせよ目が離せません。

片やリオ・オリンピックでは感動あり、涙ありの色々なドラマが繰り広げられ、目が離せなくなることでしょう。何せ地球の反対側での祭典ですから、ある程度の寝不足は覚悟しなければなりません。

最後になりましたが、今年も例年通り総会を開催します。会の進行にも工夫を凝らして楽しいものになりたいと思っております。なお、今年は、会場およびその場所が変わります。下欄に案内してありますのでお間違いにならないようお願いいたします。

幹事一同、皆様のご参加を心よりお待ちしております。申しておりますので、是非、同期生でお誘いあわせのうえご参集下さるようお願い申し上げます。

今年の総会（懇親会）は6月4日（土）。会場が南国酒家・原宿店（迎賓館）に変わりました!!

平成28年度 関東龍門会・総会（懇親会）開催ご案内

総会（懇親会）を下記により開催いたします。

かつて加中、加高女、加高に学んだ卒業生が卒年に関係なく、年に一度、一同に集まって懇談・交流を図るものです。どうぞ皆様お誘い合せの上、原宿駅前・表参道の南国酒家へお越し下さい。多数の方のご来会をお待ちしております。

（注）会場が昨年までの三州倶楽部（現在耐震補強・改修工事中）より変更されました。

記

〔日時〕平成28年6月4日（土）・受付開始：午後12時20分～・総会：午後13時～・パーティ：午後14時～

〔場所〕南国酒家・原宿店（迎賓館）（渋谷区神宮前6-35-3）TEL 03-3440-0031

〔アクセス〕・JR原宿駅下車、表参道改札口から出て、駅前の表参道通りの交差点を渡った突き当りが南国酒家・原宿店の迎賓館入口です。（半円形の入り口が目印です。）

・東京メトロ〔千代田線・副都心線〕明治神宮前駅1番出口を出て、直ぐ右側が迎賓館入口です。

（※詳細は同封の差し込みチラシの地図を参照してください）

〔会費〕7,000円（年会費は別途2,000円）学生は無料

★パーティは全て着席形式で旬の食材を活かした美味しい名店・南国酒家の中国料理を十分に堪能できます。

そして、懐かしの味…芋焼酎（燗付けでご用意）や加治木饅頭、もちろん本場直送のツケアゲ等を用意しています。

また、名店『南国酒家・原宿店』のコース料理ペアお食事券、『郷土料理食事券』、菜種油等が当たる抽選会もあります。

（お願い）案内状に同封した返信用ハガキで出席・欠席に関わらず、5月24日（火）までに、ご返信をくださるようお願いいたします。

なお、ご出席の方で今年「喜寿」を迎えられる方はお申し出ください。

※今年度より数え年対象に統一します。よって今回は昭和33年卒と昭和34年卒を合同でお祝いさせていただきます。

龍門会オリジナルのお祝品を会場でお贈りいたします。当総会の連絡先、地図は同封の案内状・ピラをご参照ください。

〈関東龍門会〉は皆様の年会費で運営されています。年会費の納入をお願いします

NEWS ! & 加治木高校 TODAY



スマホ・携帯保持は約90パーセント そのつき合い方が問題に

どの世代にとっても生活に欠かせないスマホ、携帯などのIT機器。特に若い高校生にとってはからだの一部と言ってもいいほどの存在になっています。

わが加治木高校生も例外ではなく、さまざまな影響が生活面、学習面に現れているようで、生徒保健委員会ではこれに関するアンケートを実施しています。

○一部弊害も指摘

それによりますと、加高生全体では90%がこれらIT機器を使っており、2台保持している生徒も12名います。そのうちフィルタリングしている生徒は65%でこれは全国平均の39%（2013年調べ）よりはかなり高くなっており、有害サイトやウイルスへの対策

を慎重に行っていることがわかります。

スマホの利用時間は平日は「1時間以内」が67%ですが、休日になると「2時間以上」が68%で、3時間以上も18%となります。その結果、「勉強に支障が出る」「勉強への集中力が低下した」と訴える生徒もいます。そのことを自覚してか、3年生になると、所持数や利用時間が少なくなります。

友人との連絡やおしゃべりが自由にできるLINE。これに登録している生徒は68%のほります。そのやり取りを負担に感じている人も10%近くいます。また28パーセントが目が疲れやすいと感じています。

○使用ルールを提言

これをうけて、保健委員会から次のような提案がなされました。

▽使用方法

- ①夜9時以降、触らない。
- ②勉強をするとき、机におかない。
- ③食事のときは使わない。
- ④人と話しながら触らない。

▽マナー

- ①人の悪口に参加しない、つき合わない、その場にいらない。
- ②顔を知らない人と繋がらない。
- ③LINEは連絡網もしくは独り言。返さなくてもよい。
- ④ゲームは親と時間を決めてする。ルールが守れない場合は親に返す。

いかにもまじめな加治木高校生らしい提案ですが、スマホでリラックスできる、心の支えになっている、誰かと繋がっているという安心感がある、などとプラス面を挙げる生徒もいます。

IT機器はこれからです私たちが、特にこれからの若い人たちの中では大切なアイテムになってきます。マイナス面に引き込まれないよう、上手につき合ってほしいものです。

「昔の校則って厳しかったんだなあ」 ——現役生からみた「あの頃」

現役の加治木高校生は、私たちOB・OGが学んだ遠い過去の時代の加高をどのようなものかと思っているのでしょうか。それに関する興味深い記事が、昨年の「加高新聞」に

掲載されています。題して「あの頃、加高は〇〇だった」。その中から興味深いエピソードをいくつか紹介します。

○男女別のクラスに驚き

ある年齢以上では当然と思われる方も多いと思いますが、男子と女子が別々のクラスに別れていたことを、彼らは「驚き」の事実として捉えています。その頃の生徒は「男子は元氣盛ん、女子は清楚」だったとも伝えられています。

さらに当時は「まじめな生徒と目に余る生徒の幅が大きく、かなりの頻度で雷が落ちていた」とも……。思い当たる方、いらっしやいますか。

男女仲良く机を並べて勉強している彼らは、「今はとても平和なので実感がわかない」事実として映っているようです。

○厳しかった学校行事

学校行事も「昔はかなり厳しいものがあつた」として次のことを伝えています。

「駆け足訓練、耐寒訓練などかなりきつく激しい訓練が行われており」、さらに「全員強制の水泳があり、設定された距離が泳げなかった生徒は泳げるまで補習を受けさせられた」とも伝えていきます。

○信じられない校則

「今ではあり得ないもの」として傘の色やバッグの色・形が指定されていたことを挙げています。「これは貧困の差をあらわにしないためであり」「今は自由に色や形を選べるなどなに不自由なく過ごしている。豊かになったものである」と結んでいます。ですが、私たちの時代、3年生の1月まで男子は丸刈りだったことや、冬に雪が降ってもコートを着てはい

過 去	現 在
学校全体に活気があった	生徒の雰囲気がスマート
男女別のクラス編制の時代があった	男女共学
挨拶は会釈程度	挨拶がとても良い
校則は厳しかった	校則の自由度が高まった
部活の数が少なく、帰宅組が多かった。	部活動が盛ん。 入部率 85%
ロードレース、耐寒訓練強制水泳	1日遠行に変わった

けなかったことなど教えてあげると、もつと驚くかもしれませんね。

○変化のないもの

「遠い昔から変わらないものも当然ある」として次にことをあげています。

- ・シンボルとしてのクスノキと校庭の石段
- ・先生方がプライドを持って一生懸命教えてくださる点
- ・生徒一人ひとりが素直で人間性が素晴らしい点

そして、これらの変化や遺産は「それぞれの世代、われわれの先輩たちが加治木高校をより良いものにしようとした結果であり、すばらしい環境を作ってくださったOB・OGの方に感謝する」と結んでいます。

トピックス

すばらしい読書への取り組み

パソコンなどデジタル媒体の普及で読書離れが進んでいます。加治木高校では生徒の活字離れを防ぎ、本に親しんでもらうためにさまざまな活動や指導が行われています。

そのひとつが図書館で年2回行われるJ・O・Bです。J・O・BとはJr. Officersの略で生徒だけでなく保護者や地域の人も参加してもらい、お茶やお菓子を食べたりコーラス部の合唱を聴いたりしながら、お気に入りの本を紹介したり、気に入った部分を朗読し合ったりするものです。

また各クラスで読書のための「100分ロングホームルーム」も行われています。これは読んで感動した本をクラスのみんなに発表するもので、先生からの紹介もあります。

高校時代から読書の習慣を付けるといふのはとても意義深いことで、すばらしい取り組みですね。

高出身者で全国的に知られた人、日本だけでなく世界的に活躍している人、人知れず大きな目標に取り組んでいる人、…を取り上げるこのコーナーです。今号は加高亭では珍しい(?)音楽家のご登場で、オルガニストとしてご活躍の山口綾規さんに語っていただきました。

やまぐちりょうき

「楽器の王様」と言われるパイプオルガン空間全体を鳴らすオルガニストとして国内外の演奏活動で活躍中



平成4年卒。加治木中学出身。加治木高校から早稲田大学・政治経済学部へ入学。在学中にパイプオルガンに興味を持ち、26歳で東京藝術大学音楽学部別科（オルガン）を入学。その後、同大学修士課程音楽研究科（オルガン）を修了。これまでにオルガンを大概由美子、ブライアン・アシュレー、廣野嗣雄の各氏に師事。現在、東京を中心に、アメリカ、中国、マレーシアなど国内外で幅広く演奏活動を行う。クラシックからジャズ、ポピュラーまで、ジャンルを超えた多彩なレパートリーには定評がある。品川区東五反田に自身の音楽教室を主宰し、後進の育成にも力を注いでいる。

その名の通り「パイプ」に風が流れて発音します。鍵盤で操作しているものの、笛を歌わせているような気分は格別です。オルガンが設置されているのは、たいてい大ホール。毎度豊かな響きを実感しながら演奏できることは、オルガニストの役得で、大変贅沢だと思ってます。

大量生産品ではないため、行く先々で1

台1台オルガンの仕様が違います。東京近郊であれば、演奏会前に何度か練習に通えるのですが、地方や海外の仕事だと、そうはいきません。オルガンの仕様書を眺めてイメージを描いておきます。しかしいざ現



しかし、いざ現地で触ってみると想像と違っていて、例えば身体が跳ね返されそうなほどに鍵盤が重いつとか、準備した曲目とまるでマッチしない音色とか驚きと焦りで卒倒しそうになるということもありますが、それでも翌日は演奏会です。精神的にも鍛えられます。

実は早大在学中からすでに音楽の仕事をしており、パイプオルガンも教わっていました。卒業後そのまま音楽に携わり3年ほど経った頃、自身の限界点を感じることもあり、改めて音楽をきちんと学んでみよう、と藝大へ入学しました。藝大別科、大学院は充実の5年間でした。同じく音楽を志す仲間たちとの交流も刺激になりました。あの5年間でなかったら、きっと今ごろ音楽を辞めていたかも知れません。

「音楽教室での指導方針は」

プロの音楽家を目指す生徒は一握りいるかないか、ほとんどが趣味で楽しむ人たち。しかし趣味だからこそ、一歩進んだ学習ができれば、どれほど楽しいことか。その喜びを忘れず、一生音楽を愛好する生徒を育てることが、最大の目標です。また教えることから学びも多く、生徒らとともに歩み続けています。

夏になると必ず100メートル泳がなければならなかったこと。今も体力作りには時々泳げるのは、加治木高校のおかげです。それほど運動が好きでなかったせいか高校時代は「文武両道」と聞くと、堅苦しい印象ばかりでしたがいつまでも若くはないことを自覚する年齢にさしかかり、音楽家も体力・気力・知力が必要だと痛感するこの頃、広い意味での「文武両道」その大切さがわかってきました。

「出会いを大切に」これに尽きます。これまで多くの方に出会い、振り返るとそれぞれに絶妙なタイミングで、出会うべくして出会っているのだなと思えます。また私自身、人が好きだからか、音楽の業界に限らず友人が多く、音楽ばかりに偏りがちな意識のバランスを取ってくれているような気がしています。

9月19日(祝)にサントリホールで「オルガン・カフェ」というコンサートがあります。ピアノやヴァイオリンなどに比べると、とかく縁遠いオルガンという楽器を、もっと気軽に楽しく知っていただこうという企画です。川平慈英さんと一緒に進行します。どうぞご来場ください。

行動力ひとつで人とのつながりも知識も経験もこんなに広がるんだと実感したのは、初めは知り合いさえいなかった大学生生活でした。気付くのが遅かったかどうかはさて置き、あらゆる刺激を求めて動き回った4年間は、私らしい人生のスタート地点でした。常に何かに向かって動き続けるスタンスは今も変わらず、音楽家として生きていく支えにもなっています。若い皆さんの心を動かす数々の出来事が起るのはきつとこれから目の前の生活を存分に楽しんでください。

(丁)

文武両道にわたって歴史と伝統を積み重ねてきた母校が、来年度に晴れて「創立120周年」を迎えます。会員の皆様のお手元にも、昨年末、加治木高校校友会本部（末永豊邦会長（昭和35年卒・高12期生））から、「母校創立120周年（平成29年）記念事業の募金趣意書」が届いていると存じますが、ここに今一度、当該記念行事並びに記念事業について要点を掲載させていただきます。

- (一) 記念式典〔平成29年11月1日（土）〕
 - ・ 亡師に友慰霊祭・記念講演会
- (二) 記念龍門祭〔文化祭・体育祭（現役生徒による）（9月）〕
- (三) 記念龍門講座（11月10日）
- (四) 記念遠行（11月）
※全体での祝賀会は開催されない。
予定されている記念事業）
 - (一) 育英事業
 - ① 海外留学補助制度
 - ② 国内派遣事業促進
 - (二) 奨学金・部活動補助等拡充
 - (三) 吹奏楽部楽器贈呈
 - (二) 龍門会館内「生徒に贈る言葉」の募集
 - (三) 同窓会名簿作成
 - (四) 記念誌発行
- (四) 募金目標額）8千万円
 - (一) 使途 右記（記念事業）に充当
 - (二) 募金要領 一口5千円（何口でも可）
 - (三) 募金受付期間 平成29年12月末日まで
 - (四) 送金方法 送付済の同封の郵便振込用紙による。

※〈関東龍門会としての対応〉

一面の会長挨拶にもありますように、関東龍門会では右記の趣意書に掲げられている育英事業の一つ（在校生の国内派遣事業）を、今年から「ブレ国内派遣」と位置付け、関東地区の企業施設でサポートします。その具体的な企画案は同窓会本部及び高校サイドと現在打合せ、調整作業を進めています。

またその企画案をベースに来年度の本格的な推進を支援すべく当年からも寄附をする予定で、「創立100周年記念行事」に実施した予定の寄附金と相当金額を贈るべく検討中です。それら具体的実行については、本年度総会（6月4日（土）開催）で会員に諮ります。

※会員の皆様へのお願い

関東龍門会の年会費（二千元）納入に、重ねてのお願いで誠に恐縮ですが、愛する母校の120周年記念行事へのご寄附も何卒ご協力くださいるようお願い申し上げます。

同窓会だより

昨年の総会時「返信ハガキ・通信欄」から転載。そのため時期に1年のずれがあります。ご了承ください。(平成27年度総会出席者には速報版を配布しました。)



◆今年の龍門会の総会、懇親会のお知らせは透明のビニールの封筒にいった明るいピンク色の用紙、びっくりしました。龍門会がばつと明るくなったようです。総会・懇親会の要旨が全部すぐ分かります。それに送り先の会員の住所も併記されて機能的、新しい時代を思わせるような龍門会の明るい嬉しいお知らせ、海江田会長、原幹事長、ほか、役員の皆様の素晴らしい着想に感服しました。この嬉しいお知らせに皆さんの心が弾みそうです。総会の盛会、関東龍門会の益々の発展を願っております。

◆米寿を迎え、体調もあって、出席は遠慮させて頂きます。御盛會を祈ります。皆様よろしく。(中・昭19)西園敏則(横浜市)

◆予後に注意しながら日々を過ごしています。(中・昭21)野中隆一郎(茅ヶ崎市)

◆85歳、難聴で警笛や小鳥の鳴き声も聞こえず、ちよつと残念。でも後15年ほど、のんびりの夫婦生活です。(中・昭22)矢野貞徳(春日部市)

◆85歳になると体のあちこちに故障が起きて外出することが思うようにならないです。残念ですが欠席します。皆様によろしく。(中・昭24)最勝寺哲也(葛飾区)

◆日々体力、知力の衰えは止むを得ないこと。まず転ばないように市の高齢者センターで開催されている転倒防止体操に参加しています。総会の盛會をお祈り致します。(中・昭24)浜田哲夫(武蔵野市)

◆近年足腰が弱り、駅の階段の昇降が苦しく、杖を突いて歩く状態です。三州倶楽部での会合が楽しく懐かしい限りです。益々の発展を祈っています。会報を何時も感謝しています。(高・昭25)鮫島貞隼(横浜市)

◆会報40号の「同窓会だより」の冒頭大先輩の投稿文で日頃八十路云々の年令に甘えている自分を発見して大反省。また、全投稿者の共通点に錦江湾と桜島を感じる南方的な陽性と豪気があり。人・社会との交流、健康維持、好きな分野の勉強に前向き積極的「負けてたまるか」の腹あり。読んで楽しいはずである。(高・昭25)森山耕二(東村山市)

◆会報に記載頂きありがとうございます。これからも元気で、出来る限り好きなこと、やりたいことを楽しみたいと思います。私共同期会(てんがらもん会)も東京オリンピックまでは是非継続したいと思っています。(高・昭26)酒匂昭男(板橋区)

◆戦後70年に当る今年4月天皇陛下が慰霊訪問されたペリリュー島の激戦に2人の先輩が名を留めておられることを御存じの方は幾ばくか。母国アメリカを相手に戦った島丸洋一中尉。九大出身の分田毅軍医中尉。何れも学業首席の逸材であった。激戦74日。最後の生き残り57名で敵陣突入玉砕と記録されている。また十指を数える母校出身特攻隊員の中の下楠園緑上飛曹や終戦6日前の8月9日大吠岬近海で敵艦に突入した万膳東一飛曹そして島元義春一飛曹の諸先輩は紅顔17・18歳。「高校三年生」を唄い青春を謳歌する時、現在の平和な日本を築いた歴史に名を留めぬこれ等数多くの先輩に今一度思いを馳せようではありませんか。合掌。(高・昭26)今吉孝夫(さいたま市)

◆相変わらず毎週木曜日に新宿の詩吟教室に通い、加高出身者7名を含む仲間達と雑談をしながらの昼食を楽しんでいます。(高・昭26)永長隆徳(新座市)

◆右足痛の為、外出しなくなりました。他の

会等への参加もしなくなり、淋しい限りです。出席の皆様、特に幹事の皆様方によりしくお伝え下さい。

(高・昭26)古川耕一(稲城市)

◆去る4月16日加治木において昭和26年卒同期会が開催され出席しました。総会に特別会員として出席いたします。

(高・昭26)古江孝生(大田区)

◆てんがらもん会(高3期) 4月加治木に84名が集まり「83歳の集い」ができました。加治木駅前料亭「七八(ナッパ)」に大広間があり、椅子、テーブルがあり、84名が大喜びでした。

(高・昭26)本田一(練馬区)

◆半世紀も前に滞在したミシガン州立大Biochemistry(生化学)を訪ねたら、部門はMolecular Biology(分子生物学)も加えて大発展していて様変わりビックリでした。学内説明で、つくづく遺伝子時代を痛感しました。当時お世話になった方の墓参も果しました。健康の維持に努めながらこれからも義理を果しながら、たばこを吸い、飲み且喰らい、諸方旅スケッチやゴルフを楽しんで、長生きして参ります。

(高・昭27)木佐木卓郎(横浜市)

◆「他人の喜びを共に喜び、他人の悲しみに涙を流し、他人の苦しみに折り、他人の為にささやかな心づくしを試みる、それで良い、それでいい、人生幾何、齢八十を越えた、めざせ百歳!!」皆様に感謝します。

(高・昭27)窪田正視(川越市)

◆96歳の義父の(老々)介護を既に8年間続けてきました。決して楽な仕事ではありませんが、「明日は我が身」に思いを致して老骨に鞭打っております。そして、自分自身の生活のリズムは崩さないように心掛けています。週2回の水泳、週2回のウォーキング、週1回の「赤毛のアン」の原書講読会、週1回の視覚障害者の水中ウォーキング介助、などで体の調子を整えております。

(高・昭27)新村敏郎(北海道千歳市)

◆平成26年9月外傷性くも膜下出血、頭蓋骨骨折で思うよう動けなくなりました。会員の方、龍門会の盛會をお祈り致します。

(高・昭27)野村孝終(浦安市)

◆いつもお世話になります。健康とボケ防止に歩いています。総会に皆さん参加しましょう。(高・昭27)吉川悦郎(大田区)

◆昨年は気胸で2度肺を手術。家売って老人ホームに入居、車売ってドライブを断念、ゴルフも中止と多事でした。今年は平穏な年でありたいと願っています。

(高・昭27)松田浩太郎(浦安市)

◆本年3月、10年ぶりに開聞岳(薩摩富士)に登りました。好天のおかげで桜島の噴火を目前に見てしまいました。下山後、西大山駅(JRで日本最南端の駅)より眺めた開聞岳も美しく、改めて感動しました。もう登ることは出来ませんが、ふるさとをたずねる時、眺めに行きたいです。

(高・昭27)殿村圭子(旧姓・田野崎)(世田谷区)

◆80才を超えたとさすがに年齢を感じる昨今です。関東龍門会の会報を毎年楽しみにしております。事務局の御苦労は察して余りありますが、是非頑張ってください。今年折角歴代校長一覽等配布して頂きましたが、私共が指導を受けた12代13代の校長名がミスっています。

(高・昭28)鶴田康(川崎市)

〔編集部より〕昨年差し込みの歴代校長先生の御名前で大変な校正ミスがありました。深くお詫び申し上げます。正しくは左記の通りでございます。

・12代・白濱傳 校長先生、
・13代・上原實 校長先生

◆丁度旧勤務先のOB会と同じ日時だったため、欠席とします。皆さんとお会いしたかったのですが、来年は必ず出席します。役員の皆様方のご努力に感謝します。

(高・昭29)岩元隆(八王子市)

◆日26年8月末より11月中旬まで鹿児島へ帰って入院生活でした。うつ血性心不全という事で、手術しないで何とか小康を得て

います。いろいろ薬を飲む為、酒がまづくなり量はいけなくなりました。諸先輩・後輩方との再会を楽しみにしています。

(高・昭29) 西山知弘(流山市)

◆相変らず、クルマ業界に関わっています。

(高・昭29) 永長隆房(文京区)

◆19代校長・堅山浩一氏は、高3の時、同級だった。寡黙な彼とは、あまり話したことはなかった。鹿大・文理・英文に現役で合格し、優秀な人物だった。同級生として誇りに思っている。

(高・昭30) 園田恒明(草加市)

◆母校の校門を後にしてから早くも60年。愈々老人度に磨きがかかってきました。旧友の訃報に接することが多くなりました、健康上の不都合も重なるようになりましたが、出来るだけキョウヨウとキョウウイクは実践したいと思っています。

(高・昭30) 長谷場純一(横浜市)

◆節目の40号会報とでもせつかく御案内頂きましたが、シフト制で仕事をしている関係で土・日・祝日は残念ながら自由になりません。悪しからずご承知下さい。盛会ならんことを祈念致します。

(高・昭30) 前原逸夫(世田谷区)

◆いつまで出られるかと思ひながらも今年もまた出席のハガキを出します。早いもので鹿児島を出てから60年になるうとしています。「1日は長く、1年は短かし」というのが、今日この頃です。

(高・昭31) 大迫俊正(千葉市)

◆昨年の総会では喜寿を祝って頂きありがとうございました。残念な今回は出席出来ませんが、今後もよろしく願ひします。

(高・昭31) 桑原允嗣(浜松市)

◆龍門会のゴルフ同好会に参加して9年目になります。7年前から100を切れなくなり、ついに昨年は110をオーバーしてしまいました。それでも続けたいという魅力に取り付かれています。

(高・昭31) 武田憲昭(江戸川区)

◆同期の皆さん元気でしょうか？もう少し21世紀を見てみましょう。

(高・昭31) 杉田脩(鹿嶋市)

◆昨年の総会では同期生(12名+1名)が喜寿を祝って頂き、記念品として校章付きの蓋付き湯呑まで頂きました。本当にありがとうございました。地元での同期会も昨秋最後だという会に80名が参集しました。定年で第二の人生、これからは第三の人生を楽しみ予定です。

(高・昭31) 堀之内亨(町田市)



◆本年1月21日龍門会幹事会に出席し、宴会の席上で内村さんから、脳梗塞で不自由な左足を、元通り健康な左足に治してもらい、宴会の帰りには、浦安の自宅まで飛んで帰りました。その後毎火曜日と月1回金曜日にゴルフを楽しんで居ます。本年11月末日には第8期同好会で紅葉の京都旅行で60名の皆様とお会い出来るのを楽しみに過しています。

(高・昭31) 山下重信(浦安市)

◆喜寿の御案内を頂きありがとうございます。出席させて頂きます。

(高・昭32) 石野忠(東久留米市)

◆喜寿年に当たり、丁重な御案内を頂き有難うございます。11年振りですが体力・気力のある内に参加出来て幸いです。

(高・昭32) 窪田幸男(小田原市)

◆何とか元気に暮しております。

(高・昭32) 南之園信正(守谷市)

◆直腸がん手術後腫瘍マーカー値が高く経過観察中。抗がん剤の副作用が残っています。(血圧、手先のふるえ等)盛会を祈ります。

(高・昭34) 出水克明(横浜市)

◆今年こそは！出席叶いませんでした。来年こそは！

「テゲテゲで、スローライフで、キバイモンソ！」会員諸氏の健康とご多幸を祈念致します。

します。(高・昭34) 上西康生(川口市)

◆年相応に生活を送っています

(高・昭34) 濱田伸一(世田谷区)

◆今年も総会の時期がやって参りました。同窓の皆様方と会い、語らう事が出来るのを楽しみにしております。健康の秘訣は、出来るだけ社会との関わりを持ち、適度の運動をする事と思っています。今後ともよろしく願ひします。

(高・昭34) 別府睦雄(川崎市)

◆毎日曜日ソフトボール同好会、毎月曜日混声合唱のレッスン、毎日FMラジオ放送、コンボのMD、CDでクラシック音楽鑑賞等、忙しくしています。

(高・昭35) 清水丈暢(千葉市)

◆折角御案内頂きましたが都合付かず欠席させて頂きます。最近では11月頃開催しておりますが、結成当時に比べ参加者減少し、メンバーも固定化しています。本田勝君は同期生です。御盛会をお祈り致します。

(高・昭35) 立石徳隆(熊本市)

◆5月末から6月10日までジュネーブの息子の所へ出掛けます。次回は参加させて頂きます。36年卒(13期)の方が今年は何人か参加します。前原さんいつも御苦勞様です。ありがとうございます。

(高・昭36) 高橋ミチ子(旧姓・福永)(春日部市)

◆案内状とたくさん資料ありがとうございます。13期生は常々出席率が悪いと聞いておりましたが、今回、親しい友人達に参加させて頂きたいと思ひます。同期会は毎年10月にありますが、また違った出会いがありそうで懐かしさと楽しみです。

(高・昭36) 末永依久子(旧姓・東恵子)(横須賀市)



◆現代舞踊を習い始め4月26日発表会があります。楽しく日々を過ごすようにしています。

す。

(高・昭37) 花田敦子(旧姓・竹下)(三鷹市)

◆今年も会報を楽ししく読ませていただきました。盛会をお祈りします。

(高・昭37) 肥後カツ子(旧姓・笛田)(さいたま市)

◆前原幹事長始めお役の皆様にはいつも感謝の気持ちで一杯です。罪を犯してしまつた少年達の更生の為のボランティアをしております。審判に参加したり、親代りの付添い活動の中で真の愛情に飢えている彼等の叫びを聞く思いです。本職の「きもの学院」は小さな歩みながら38年を迎えました。日本の文化を大切に思う若い生徒さん達に支えられ楽しく過ごしております。4月には総理主催の「桜を見る会」に招かれ新宿御苑に参りました。ウン十年前の東京での学生時代を懐かしく想い返す一時でした。御盛会を祈ります。

(高・昭37) 桑原昌子(旧姓・西)(浜松市)

◆俳句、時評、短篇等をブログで発信しています。「健太郎日記」「翁のつばやき」「長谷川圭 雲」の検索で見られます。

(高・昭37) 長谷川圭一(横浜市)

◆4月29日、新宿「平和記念展示資料館」で行われた「知覧からの手紙」パネル展に行ってきました。特別イベントとして、知覧特攻平和会館の語り部・川床剛士氏による講話も聞くことが出来ました。特攻隊、回天、ペリリュー島・沖繩等々、先輩たちの犠牲の上に、今のこの豊かで平和な時代が成り立っていることを再認識しました。知覧平和会館は年間約60万人見入るそうです。帰省の折には行かれてみては如何でしょうか。

(高・昭37) 日高昭(三浦郡)

◆御苦勞様です。このところ体調を崩し今回は参加叶いません。鹿児島で開催する「第16期古希同窓会」にも出席出来なくなり残念な思いです。故郷には年2、3回帰って釣り、ウォーキング等で旧交を温めています。早いうちに健康を回復して山登り、ゴルフを再開したいと思っています。

(高・昭39) 河野正美(新座市)

◆本年5月31日を以て定年退職で鹿児島に帰る為、残念ながら総会には出席出来ません。悪しからず御容赦下さいませ。約10年間東京近辺にて楽しい生活をさせて頂きました。又、会える機会があります様に祈っています。

(高・昭39) 日高政光(草加市)

◆2014年4月より郷里の単人で1人生活を楽しんでいます。関東龍門会の増々の発展を祈念しております。上京の折は宜しくお願い致します。

(高・昭40) 上和田政士(霧島市)

◆役員の皆様いつもお世話になっております。会報楽しく読ませて頂きました。皆様多方面で御活躍嬉しい限りです。

(高・昭40) 萩原法子(旧姓・指宿)(横浜市)

◆いつかは参加したいと思っています。皆様の健康を祈ります。

(高・昭41) 小林糸路(旧姓・大重)(鶴ヶ島市)

◆10数年に亘り参加していますが、皆さんの会話の言葉が、鹿児島弁でないのが残念です。どこか他の同窓会に参加している様で淋しい限りです。自分の生まれ育ったところの言葉は忘れるものではありません。折角の同窓会ですから、もったいないものです。私は、いつも「カゴツマ弁」です!!

(高・昭41) 比良田千利(横浜市)



◆昨年ジャンケン大会で「上野・水月ホテル 鶴外荘」の食事券を頂きました。6月末友人の絵画展を見た後、妻と昼食を食べに行きました。大変すばらしい所で充実した一日でした。

(高・昭41) 藤井誠(厚木市)

◆先日(4月18日)加治木高校卒の現役大学生と卒業後数年経た若い人(ビジネススマン)との懇親会に出席しました。若返った感じがしました。

(高・昭42) 國生幸一(川口市)

◆父の三回忌で帰った鹿児島は、桜やキリシマツツジ(岩ツツジ)の花々で春爛漫でした。霧島連山や、連日何回も噴火していた桜島を眺めながら、心を癒され、元気をもらって、新職場2年目に臨んでいます。

(高・昭42) 藤井豊幸(さいたま市)

◆忙しい人生だったかも!! 60年も経ってしまいました!! 皆様お元気でしょうか? お世話役の皆様本当に感謝でいっぱいです。

(高・昭42) 道畑美江子(旧姓・谷川)(横須賀市)

◆毎年、送って頂く会報にて、高校の事、同窓生の事などに思いを馳せています。御盛會をお祈りします。

(高・昭43) 中水流まち子(旧姓・永野)(川崎市)

◆両親の介護や山や畑の手入れのため、1ヶ月に1回帰省しています。4月には知覧に行ってきました。

(高・昭43) 永元幸雄(川越市)

◆会報の皆様の近況に元気をもらっています。盛会をお祈り致します。

(高・昭44) 岩井隆一(旧姓・福元)(文京区)

◆一昨年は脳梗塞、今冬は急性心筋梗塞で入院しましたが復帰。元気に過ごしています。卒業して44年です。同期の方と会えるのを楽しみにしています。

(高・昭46) 木佐木学(川崎市)

◆卒業以来、昨年初めて出席させて頂きました。同期生は知っている顔ばかりで楽しいひと時を過ごすことが出来ました。今年には体調不良で参加出来ませんが次会を楽しみにしたいと思います。

(高・昭46) 堅山幸男(松戸市)

◆初めての参加ですがよろしくお願い致します。

(高・昭46) 比良田健一(相模原市)

◆まだまだ介護の真っただ中です。今は義母と自分の母の介護で自分の近い将来を勉強させてもらっています。そんな中パートの仕事や夫、友人たちとの気分を転換する時間の大切さも身に染みて感じています。

(高・昭47) 佐々木真理子(旧姓・二木)(町田市)

◆介護で忙しくしております。皆様もお元気で過ごしてください。

(高・昭49) 塚田真由美(旧姓・林)(中央区)

◆もう少ししたら参加します。

(高・昭50) 大當光憲(埼玉県和光市)

◆最近、健康維持の為、朝テレビ体操をしています。後、毎日仕事の合間に少しの時間でもピアノを弾いて楽しく過ごしています。

(高・昭51) 佐藤安子(旧姓・境田)(世田谷区)

◆昔、母が作ってくれるカレーは肉ではなく、さつまいもが入っていました。時々スーパリーの物産展で「鹿児島」をやっているとつかしき思い出します。

(高・昭52) 赤津まゆみ(旧姓・諏訪)(所沢市)

◆今度お墓を購入しました。家の近くにあり横浜動物園(ズーラシア)の近くの高台です。縁あって家族になったのだから亡くなっても一緒にいたいと思ったからです。また、夫が還暦になり息子達が箱根の温泉に招待してくれました。

(高・昭52) 多田香代子(旧姓・渋谷)(横浜市)

◆夏に高校野球、甲子園球場アルプススタンドでの応援観戦・感動余韻が残る中、秋に鹿児島県高校野球連

盟より、第87回選抜

高校野球大会21世紀

枠出場校に加治木高

校推薦のニュース。

私は神奈川大会・関

東大会・甲子園と神

奈川県高校野球の

追っかけをして十数年、今後、鹿児島大会

での母校の試合にも目が離せなくなり楽

しみも倍増です。

(高・昭54) 大岩根正浩(綾瀬市)

◆皆様、いつもありがとうございます。この度、夫が東京を離れる事となりました。今後は福岡での参加をしたいと思います。残念ですが退会をお願いします。お手数をお



かけします。

(高・昭54) 田中真喜子(旧姓・藤崎)(福岡市)

◆会報でなつかしい名前をみつけると、とてもうれしく元気にしているのかなあ、ありがたいなあと思います。加高の制服のリカちゃん人形、再発売はないのでしょうか? 私達他同窓生が欲しがっていました。

(高・昭56) 市来さゆり(旧姓・茶園)(土浦市)

◆年1回の会報を楽しみにしています。最近こちらにいる同期と会う機会も増えてきました。

(高・平3) 西原真仁(大田区)

◆ご了承ください
この他に、「総会に出席できません」、「盛會を祈ります」、「幹事に感謝します」等のメッセージを多数いただきましたが紙面の都合上割愛させていただきました。

★話題が一杯! 関東龍門会ホームページ

関東龍門会では、ホームページを開設し、母校や同窓会のニュース、会報バックナンバー等を掲載しています。会員の皆様ぜひアクセスしてみてください。

©HPアドレス www.ryumonka.com

関東龍門会の事業について

平成28年度は下記の事業(活動)を計画しています。
活動についてご提案、ご意見がありましたらTEL、メール、ホームページへの書き込み等でご連絡くださるようお願いいたします。

平成28年度事業計画

詩吟大会	3月24日(木)⇒(終了)
春季〈開基大会〉	5月12日(木)
総会・懇親会	6月4日(土)
春期〈ゴルフコンペ〉	6月中旬予定
秋季〈ゴルフコンペ〉	11月中旬予定
新年〈開基大会〉	1年月中旬

同好会 ニュース



参加者大募集!
頭の体操、体の体操で健康な毎日を
送りましょう!

ゴルフ同好会

ビギナーもベテランも是非のご参加を!

*本年春季コンペは6月中旬開催予定!

ゴルフ同好会では毎年春と秋の2回コンペを開催しております。80歳代の大先輩から30歳代まで、垣根を越えた楽しいコンペです。平日開催ですが、若手の参加をお待ちしております。

初参加の方も直ぐに打ち解けることができる会ですので今年が初めての方も是非ご参加下さい!



「2016年度 春季コンペ」

6月中旬 武蔵野ゴルフクラブにて
開催予定

ゴルフコンペ参加希望者は「総会案内」がき返信欄に参加の意思をご記入下さい。幹事に直接連絡いただいても結構です。

〈幹事〉川井田信雄(高・昭45)

〔TEL〕043-250-4478

〔携帯〕090-1692-4785

2015年度 春季大会(5月12日) 成績

優勝 新村和則(高・昭36)

準優勝 斜木丈二(高・昭34)

3位 永本幸雄(高・昭43)

4位 田中昌之(高・昭46)

5位 石野 忠(高・昭32)

ベスグロ 永本幸雄(スコア84)

2015年度 秋季大会(11月5日) 成績

優勝 石野 忠(高・昭32)

準優勝 新村和則(高・昭36)

3位 斜木丈二(高・昭34)

4位 古賀千成(高・昭34)

5位 海江田 怜(高・昭40)

ベスグロ 古賀千成(スコア92)

新村和則(スコア92)

囲碁同好会

「碁で脳の老化防止を!」

昨年の春季大会は、三州倶楽部囲碁同好会から2名の方の特別参加を得て、9名で行いました。新年の大会は、昨年三州倶楽部囲碁同好会と日程が近く両方に参加されている方に迷惑をお掛けしましたので、今年は両同好会の共同開催としました。しかし折悪しく強烈な寒波に見舞われキャンセルが相次ぎ、参加者は関東龍門会会員からは9名となりました。そのような中で鹿児島から堀中清美さんが特別参加してくださいました。

昨年度は退会者が2名ありました。近年体調不良での退会者もあり、新しい方々の参加を是非お待ちしております。

〈幹事〉海江田 怜(高・昭40)

〔TEL〕0467-86-4068

2016年春期囲碁同好会
5月12日(木)三州倶楽部地下1階会議室にて
午前10時から午後4時まで。

各回の参加者は以下のとおりです。

〈春季大会〉(2015年5月14日)参加者9名

大井澄佳 八段(中・昭21)

海江田 怜 六段(高・昭40)

立山 勲 四段(高・昭30)

玉利勝正 五段(高・昭26)

長野忠雄 八段(高・昭30)

中山晴雄 六段(高・昭29)

宮内 毅 五段(高・昭27)

柏村栄太郎 八段(三州倶楽部)

森田雄太郎 三段(三州倶楽部)

〈新年大会〉(2016年1月23日)参加者6名

大井澄佳 八段(中・昭21)

今村 彬 四段(高・昭25)

上原孝司 三段(高・昭29)

海江田 怜 六段(高・昭40)

中山晴雄 七段(高・昭29)

堀中清美 三級(高・昭26)



詩吟同好会

本年は3月24日(木)に東京理科大・理窓倶楽部にて会員6名で開催。

〈幹事〉川口榮三

〔TEL〕042-734-2225

会報 同 情



このコーナーは卒年の同じ人のヨコの集まりのお知らせです。

■加中44期(昭和20年4年生卒)
今年の米寿同窓会は①期日・11月11日(金)②場所・新宿区「北の海道」③昭和の語り部として紙上同窓会にも参加し、僕達が体験した戦前戦後の実情を後輩に書き残しましょう!

幹事・飛松謙哉・南川一郎・文責 上蘭悟
■加高3期(昭和26年卒)「てんがらもん会」
1有志の会(現在男子のみ12・15人)
・毎月一回実施、場所東京理科大学理窓会倶楽部

・1月は28日(木)15:00、
・2月以降は未定(前の会で日時決定)
2旅行・2月9日(火)10日(水)
・場所・ひたちなか市平磯海岸「アンコウ鍋」を囲み英気を養う。

3総会・12月3日(土)12:30場所・東京理科大学理窓会倶楽部 酒匂昭男
■加高6期(昭和29年卒)
古希を迎えた平成24年5月KKRホテル東京での公式同窓会を最後としました。その後、気の合う仲間と時々一杯やっています。

■加高7期(昭和30年卒)「東京さおう会」
平成26年11月の第34回を最終会として開催しましたが、全員が本年満年齢の傘寿となりますので今年秋に第35回を傘寿同窓会として開催する方向で検討しています。日時場所などは未定です。長谷場純一

■加高8期(昭和31年卒)
平成27年11月29日(日)11月30日(月)・京都市、男15名、女22名参加。トロッコ列車及び保津川下り事故・トラブル無く終了。

■加高9期(昭和32年卒)
27年度は10月28日横浜で昼食会として開催(関東地区同窓会)参加者15名でした。が鹿児島から2名の参加がありました。今年(28年度)も10月頃同窓会を予定したいと考えています。坂本 亨

■加高11期(昭和34年卒)
平成28年4月19日(火)東京・丸の内オアゾの「えん」で約20名が参加して開催しました。
■加高12期(昭和35年卒)「柁の木会」
平成27年12月5日(土)横浜「美濃吉」で実施 15名参加。
幹事・清水文暢・岩元貞雄
平成28年12月3日(土)予定。場所、時間・未定。

幹事・今村寛・渡辺恵子(文責)中山憲二郎
■加高13期(昭和36年卒)
27年度は10月21日(水)新宿日本料理三平で開催。21名参加。
28年は10月19日(水)12時より同店で実施予定。

■加高16期(昭和39年卒)加高39会
①鹿児島・東京・大阪と持ち回りで開いてきた全体同窓会は平成27年5月24日(日)「城山観光ホテル」にて開催の「加高39会・古希同窓会」で最後となりました。
②平成27年関東39会を12月19日(土)に東京「街路樹」で開催。男子7名、女子2名の参加。

③平成28年は12月17日(土)「街路樹」にて開催予定。
■加高30期(昭和53年卒) 相羽孝師
関東在住の方を中心に年一回定期的に同窓会を開催していますので、是非ともご参加ください。

☆連絡先・矢野義信
(090-8493-0885)

■加高31期(昭和54年卒)
○平成27年7月4日参加者25名(女性10名・男性15名)。平成27年11月28日参加者23名(女性5名・男性18名)。
○開催場所・東京「魚海船団」神田司町本店(31期生が加治木高校在学中お世話になった12代白濱校長先生のご子息が経営されているお店です)。

○今年度も7月2日(土)・11月26日(土)「魚海船団」神田司町本店にて開催予定
○平成23年から年2回、脇岡代表幹事の下、関東地区同窓会を開催し、今年7月は第11回開催になります。

◎幹事・脇岡弘典氏
☆連絡先・大岩根正浩
(080-5055-7581)

「関東龍門会」(27年度) 事業報告

幹事長 前原澄雄(昭43年卒)

〔活動報告〕

①平成27年度総会は6月6日(土)に会員128名、来賓13名(内8名が卒業生)、賛助会員1名の総数142名が参加して開催。議事として会計報告、年度事業計画等を討議しました。

②27年度は、常任幹事会3回、臨時役員会1回、学年幹事会3回、会報編集委員会3回開催し、27年度の行事と会報発行を滞りなく遂行しました。

③会長の改革方針を具体化し、若手卒年度学年幹事との交流懇親会等での出席促進で、平成年度卒業生の総会参加者が10名に増えました。また、各同好会幹事への関東龍門会との交流推進で、総会参加者の空白卒年度がかなり解消できました。加えて、各支部龍門会へ会報誌の送付提供による横断的な交流で会員新規登録者に増加が見られました。一方で、会員登録名簿の整備(クリーニング等)を実施、それによる通信経費削減ができました。また、最も重要な登録会員の掘り下げ(同好会幹事との交流を重ねての母校情報提供等)が図れました。同時に、年会費・寄附金の増加・維持に繋がりました。

④各同好会活動では開基同好会を新年と春季に計2回、ゴルフ同好会を春秋で計2回開催し会員間の親睦を深めました。詩吟同好会は年度末の3月下旬の初吟会での成果発表となりましたが、会員全員で毎週木曜日に練習鍛錬を重ねながら日々の精進を重ねております。

◆年会費納入のお願い
関東龍門会の運営は会員皆様方の会費と寄付で賄われており、それらは主として会報制作費と発送費用に充当しております。会員サービスを充実するためには皆様の会費納入が絶対不可欠です。何卒、会費納入にご協力をお願い致します。

◆ご寄付への御礼とお祝い
毎年、会報および総会の席上で寄付金お申し出を承っておりますが、今年も1223人の方にご賛同頂き、45万6千5百円の篤志を頂きました。ここに厚く御礼申し上げます。

来年度は母校が創立120周年に当り、当会としてまずは先の110周年記念時と同様の寄付金額を予定しております。こうした状況を是非ともご賢察いただき、当会の健全な運営のために、皆様の更なるご支援をお願いします。

なお、ご寄付に当りましては、「年会費振込用紙」をご利用頂き、金額欄に会費と寄付金額を合算した額をご記入ください。また、従来通り総会時にもご寄付を承ります。

◆関東龍門会への入会促進と
総会・懇親会へのご参加のお願い
関東龍門会の存在をご存知ない方やこの会報が届かない方がおられましたら、ご遠慮なく事務局へご連絡ください。

〔連絡先〕幹事長・前原澄雄
・副会長・山下憲男・副幹事長・西迫宏文
・事務局長・木佐木学
・事務局長・木佐木学
また、ご出身地毎の郷土出身者懇親会や、知人・ご親戚の方で同窓生がいっぱいありましたら、是非とも呼びかけていただき、本総会・懇親会へお誘い合わせの上、多数が参加されるようお願いいたします。

なお、同期生や知人・ご親戚の同窓生で当会未登録の方に、当総会案内や懐かしい母校資料等を送付致します。

ご希望される方は、幹事長・前原までご連絡なくお申し付けください。

〈平成26年度 会計報告〉

(会計幹事) 前原澄雄(高43年卒・20期)

関東龍門会平成26年度(自平成26年4月1日～平成27年3月31日)の収支実績は下表の通りです。

収入の部〈単位:円〉		支出の部〈単位:円〉	
科 目	決 算	科 目	予 算
前年度繰越金	399,770	総会費	750,000
総会費	886,000	印刷関係費	270,000
年会会費	751,190	通信費	400,000
寄付金	404,000	事務費	50,000
雑収入	29,290	会議費	200,000
預金利息	134	広告費	30,000
		同好会費	90,000
		交際費	40,000
		雑費	20,000
		予備費(繰越金)	450,000
2,470,384	合 計	2,300,000	2,470,384

(注) 当会報による報告は、決算月日の関係上、平成26年度の会計報告です。

27年度(平成27年4月1日～平成28年3月31日)の会計報告は、28年度総会(平成28年6月4日開催)に於ける承認を経て当会報29年度号(第42号)において報告します。

〔備考〕

(※1) 27年度総会は27年6月6日に開催。会員128名、来賓13名(内、卒業生8名)、賛助会員1名の合計142名が参加。上記報告は当総会において承認されたものです。

(※2) 年会会費は振込手数料差引き後です。(26年度年会費納入者 392名)

(※3) 寄付金 117口(寄付者氏名は当会報27年度号(第40号)に掲載済み)

(※4) 印刷費は、会報、総会案内状、往復ハガキ、送付用封筒、振込用紙等の費用です。

27年度寄付者ご氏名(敬称略)

〈13年卒〉吉満肇 〈15年卒〉橋本藤任 〈20年卒〉上蘭悟 三段隆
高橋渉 〈21年卒〉野中隆一郎 〈22年卒〉矢野貞徳 〈23年卒〉市来秀夫
〈24年度〉杉田宏 濱田哲夫 〈25年卒〉今村彬 高城弘世 森山耕二
山田英子 〈26年卒〉今吉孝夫 加治木正紀 川口榮三 酒匂昭男
城正之 高城順子 徳田誠一郎 本田一 古川耕一 〈27年卒〉窪田正視
新村敏郎 吉川悦郎 〈28年卒〉井桁美樹子 鶴田康 永井喜代子
〈29年卒〉樺山亨 殿村圭子 〈30年卒〉長谷場純一 立山聡 佐藤眞理子
〈31年卒〉堀之内亨 〈32年卒〉秋山淳子 石野忠 市来研志 窪田幸男
肥後陽二 細川時子 〈34年卒〉朝倉正昭 今村博 上西康生 白濱孝一
別府睦雄 松元典郎 行村紀男 〈35年卒〉稲留節徳 重信龍男
鶴田親治郎 中山憲一郎 本田勝 松金瑛子 〈36年卒〉今村嘉友
兄玉重人 高橋ミチ子 松田士郎 山崎巖 〈37年卒〉石宇テルエ
常盤毅 藤島義行 米増洋昭 〈38年卒〉関田平 〈39年卒〉相羽孝師
柿元邦彦 河野正美 城憲夫 徳永正幸 〈40年卒〉川口千鶴子 垣内忍
北野正英 堅山達一 東俊文 土方加代子 藤崎マリ子 松下憲三
〈41年卒〉大串久美子 小濱陽子 黒川幸治 萩原町子 福重利夫
安田文二 〈42年卒〉小濱洋子 鎌田修 藤井豊幸 〈43年卒〉大久保令子
勝山達志 重村博文 竹田茂隆 永元幸雄 宝蔵隆 前原澄雄 矢野雅子
〈44年卒〉岩井隆一 大村登喜子 川井田信雄 〈46年卒〉木佐木学
木瀬久幸 堅山幸男 若林凉子 〈47年卒〉上原三枝子 小松郁子
佐々木真理子 米倉道代 〈48年卒〉井下修 酒匂馨一 〈49年卒〉塩村朱美
松野下淳子 〈50年卒〉有村優 〈51年卒〉楠田靖紀 〈55年卒〉西迫宏文
〈56年卒〉市来さゆり 〈57年卒〉大塚知彦 〈58年卒〉淵邊嘉彦
〈61年卒〉久保裕 〈H3年卒〉西原真仁 〈母校教育振興会〉同窓会本部
〈近畿龍門会〉〈始良市〉〈加治木工業高校・同窓会関東支部〉

〈関東龍門会〉平成27年度 役員

(平成28年3月31日現在) ※ () 内は卒年

〈顧問〉今村彬(昭25) 酒匂昭男(昭26) 永長隆徳(昭26) 長谷場純一(昭30)
杉田脩(昭31) 朝倉正昭(昭34) 満田泰啓(昭34) 本田勝(昭35)
中山憲一郎(昭35)
〈参与〉行村紀男(昭34) 鶴田親治郎(昭35) 松金〔宝蔵〕瑛子(昭35)
関田平(昭38)

〈会長〉海江田伶(昭40)
〈副会長〉藤島〔増田〕義行(昭37) 北野正英(昭40) 藤崎〔徳田〕マリ子(昭40)
山下憲男(昭41)
〈幹事長〉前原澄雄(昭43)
〈副幹事長〉重村博文(会計担当兼任)(昭43) 川井田信雄(昭45) 西迫宏文(昭55)
〈事務局長〉木佐木学(昭46)
〈監事〉徳永正幸(昭39) 相羽孝師(昭39)
〈常任幹事〉北原源平(昭41) 國生幸一(昭42) 中村信二(昭45) 中國悦朗(昭46)
若林〔高山〕凉子(昭46) 上加世田策(昭47) 井下修(昭48)
塩村〔久永〕朱美(昭49) 松野下〔田村〕淳子(昭49)
佐藤〔境田〕安子(昭51) 大岩根正浩(昭54) 中野広行(昭58)
素元真二(昭59) 久保裕(昭61) 安井〔福留〕はるみ(昭62)
海江田健司(昭63) 福島雄一(平1) 今村邦之(平17)
〈学年幹事〉(各期)各学年・卒業期毎に数名(掲載省略)
※各事業担当責任者
☆〈会報編集委員会〉前原澄雄(補佐)久保裕
☆〈開基同好会〉海江田伶(補佐)重村博文
☆〈ゴルフ同好会〉川井田信雄(補佐)福村正美(昭53)
☆〈詩吟同好会〉永長隆徳(幹事)川口榮三(昭26)
☆〈HP担当責任者〉前原澄雄(補佐)山下憲男



27年6月6日総会出席者【敬称略、名字後ろの()は旧姓】

〈20年卒〉上蘭悟 〈25年卒〉今村彬 高城弘世 森山耕二 〈26年卒〉池ノ上昭義 今吉孝夫
加治木正紀 柏木主計 上村逸夫 川口榮三 酒匂昭男 徳田誠一郎 永長隆徳 本田一
森田準一郎 〈27年卒〉木佐木卓郎 松田浩太郎 宮内毅 吉川悦郎 〈29年卒〉榎谷惟光
小笹良忠 永長隆房 〈30年卒〉長谷場純一 立山勲 森山義親 〈31年卒〉大迫俊正 新村菊雄
杉田脩 武田憲昭 山下重信 〈32年卒〉石野忠 市来研志 窪田幸男 肥後陽二
〈34年卒〉別府睦雄 行村紀男 〈35年卒〉稲留節徳 清水丈暢 鶴田親治郎 中村(橋口)桃子
中山憲一郎 姫木昌弘 本田勝 町田博 松金〔宝蔵〕瑛子 〈36年卒〉今村嘉友 兄玉重人
坂口(岡元)洋子 永田(柿木)幹子 末永依久子(東恵子) 古本(大橋)百合子
〈37年卒〉長谷川圭一 日高昭 藤島(増田)義行 〈38年卒〉川井(塩屋)由紀子 関田平
〈39年卒〉相羽孝師 内村覚峰 上村健二 徳永正幸 永重郁雄 〈40年卒〉海江田伶 垣内忍
北野正英 高橋弘治 堅山達一 東俊文 藤崎(徳田)マリ子 松下憲三 〈41年卒〉井ノ口弘
北原源平 小濱(永治)洋子 西郷(枅山)宏 坂口(白尾)義子 藤井誠 藤崎博一
比良田千利 三浦(山田)佳代子 安田文二 山下憲男 〈42年卒〉石川(石野)フサ子
國生幸一 〈43年卒〉勝山(田畑)達志 重村博文 竹田茂隆 徳田修 永元幸雄
橋浦(松田)敏子 前原澄雄 〈45年卒〉川井田信雄 中村信二 古江弘 御室(緒方)裕子
〈46年卒〉木佐木学 木瀬久幸 徳富義明 中國悦朗 藤本(三浦)ユミ子 比良田健一
堀之内豊 若林(高山)凉子 〈47年卒〉梅橋嘉博 〈48年卒〉井下修 篠原政美
〈49年卒〉塩村(久永)朱美 徳富久也 堀之内(前原)かすみ 本間(笹峰)万里子
松野下(田村)淳子 〈51年卒〉佐藤(境田)安子 〈53年卒〉宮原絹子 〈54年卒〉大岩根正浩
森木田利治 〈55年卒〉西迫宏文 〈56年卒〉服部(嘉茂)睦子 〈58年卒〉中野広行
〈59年卒〉素元真二 〈61年卒〉久保裕 〈63年卒〉海江田健司(平成14年卒) 石井麻美 田上佐紀
宗像愛 〈平成17年卒〉今村邦之 川畑翔太郎 松下勇騎 〈平成18年卒〉横山皓一郎
〈平成26年卒〉仲充哲 林拓真 〈平成27年卒〉鬼丸貴
〔来賓〕〈同窓会会長〉末永恵邦(35年卒) 〈加高校長〉森永忠秋(49年卒)
〈始良市〉市長・笹山義弘(46年卒) 総務部長・脇田満徳(昭和50年卒)
〈近畿龍門会〉会長・村田好夫(39年卒) 顧問・重森英樹(昭和36年卒)
〈本部同窓会〉副会長・鎌田一典(昭和46年卒)
〈鹿県・東京事務所ふるさと交流課課長〉富窪和人(59年卒)
〈加治木工業高校同窓会・関東支部〉支部長・柏木光雄 幹事長・亀澤淳秀
事務局長・川辺日出海
〈水月ホテル・鵜外荘〉営業チーフ・武井達介(白金酒造株) 営業・竹下僚(賛助会員) 会田渉

〔編集後記〕

◇関東地区在住の加高出身者で、全国的に幅広く活躍されている人々を取り上げてシリーズ化されています『あの人を訪ねて』は平成21年度(第34号)より始まり、今後で8回目となりますが、毎回編集者が最も頭を悩ませるコーナーでもあります。しかし、一方では大きな活力源になっております。今号にご登場の山口綾規さんですが、当会の前会長、本田勝さん(昭和35年卒・高12期生)と大学同窓会での出会いによりご紹介をいただきました。

◇山口さんの座右の銘は「出会いを大切に」で、振り返ると多くの方と絶妙に出会い、出会うべくして出会っているのだと断言されています。実に印象的で名言です。これからも、多くの出会いによる交流で、同窓生の活躍をお届けできればと思います。

今号は左記の方が編集作業に携わりました。
鶴田 親治郎
藤崎 マリ子
相羽 孝師
重村 博文
西迫 宏文
久保 裕
編集責任者 前原澄雄(昭和43年卒)